

(5) 甲信越



甲信越地域では、景気は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

前回からの主要変更点

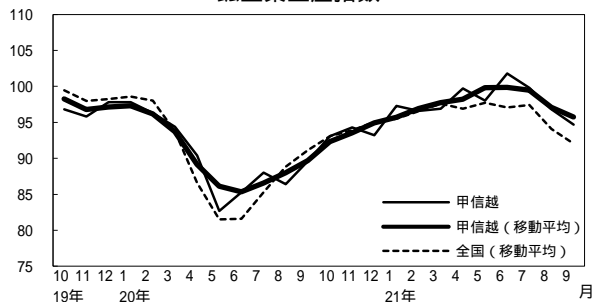
	前回(令和3年8月)	今回(令和3年12月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに弱さがみられる	
鉱工業生産	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	
個人消費	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
雇用	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。

7 - 9月期の鉱工業生産は、「電子デバ、電気・情報通信」が減少したこと、「汎・生産・業務用機械」が減少したこと等により、前期比2.7%減となった。

鉱工業生産指数



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値、甲信越の最新月は速報値。
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値ウェイト	生産				
		4 - 6月期	7 - 9月期	7月	8月	9月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	1.6	4.4	1.9	6.9	2.4
汎・生産・業務用機械	24.8	7.2	3.2	1.8	2.7	0.4
食品・たばこ	12.0	0.6		0.0	1.0	
石油・石炭、化学、プラスチック	10.3	3.9	3.3	4.3	1.3	0.3
鉄業、非鉄金属、金属製品	8.8	0.6	0.7	3.0	1.0	2.8
鉱工業	100.0	3.0	2.7	2.0	3.0	2.2

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
 2. 7 - 9月期、9月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類

2. 個人消費の動向

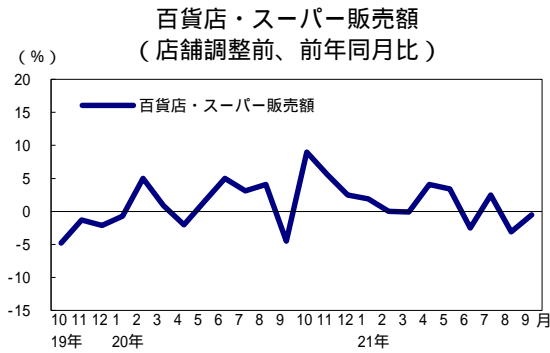
個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7 - 9月期は前期比 2.2%減となった。月別にみると、7月は前月比 2.2%減、8月は同 2.5%減、9月は同 1.0%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7 - 9月期は前年同期比 0.5%減となった。月別にみると、7月は前年同月比 2.5%増、8月は同 3.1%減、9月は同 0.5%減となった。



	2021年7-9月	2021年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	2.2	2.2	2.5	1.0
百貨店・スーパー(*2)	0.5	2.5	3.1	0.5
乗用車(*3)	21.1	13.1	4.4	39.2
(季節調整値)(*3)	13.5	3.4	2.7	34.9

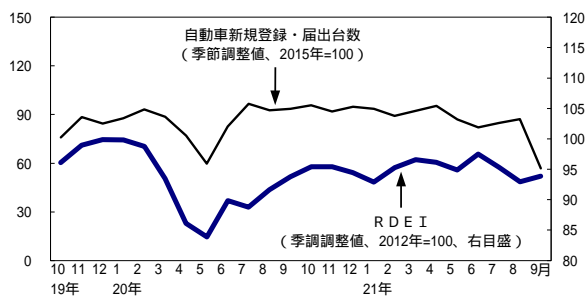
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

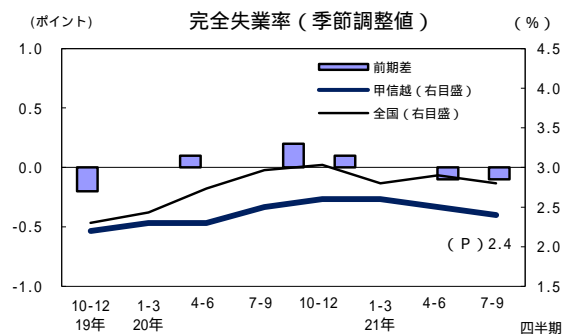
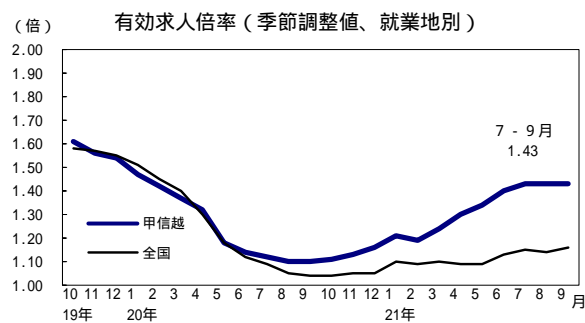
RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 7 - 9月期の値は暫定値。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年10月調査) 景気判断理由の概要

5. 甲信越

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

	分野	判断	判断の理由
	現状	家計 動向 関連	
			・客単価はやや上がってきているものの、来客数が伸びず、全体として売上が伸びない。景気は余り変わっていない(自動車備品販売店)
			・少しずつ人は動き出したが、クリーニング業は、原油価格の高騰でかなり苦しくなっている。高騰が続くと大変困る(その他サービス[クリーニング])
企業 動向 関連			・受注は増加傾向にあるものの、資材価格の上昇や納期がはっきりしないことが、悩みの種でもある(建設業)
		×	・例年の季節商材受注はあるものの、受注数は減少している。ワークショップの予約状況も、依然として低迷している(窯業・土石製品製造業) ・原材料価格が過去40年で最も高く、11月から更に値上がりするとのことなので、利益の出る状況ではない(食料品製造業)
雇用 関連		・明らかに、飲食業や宿泊業からの求人が増加している。全体的に活気が出てきたように感じる(職業安定所) ・相変わらず、採用条件等は厳しく、回答までに時間が掛かってしまい、収入がなくなる方からの相談も増える一方である(人材派遣会社)	
その他の特徴 コメント		：緊急事態宣言解除後、個人客、ツアー共に復活しており、突然の大きいわいとなっている(観光名所) ：客の声に明るい前向きな言葉が混じるようになってきたように感じる(一般レストラン)	
先行き	家計 動向 関連		・新型コロナウイルスも落ち着いて、外出する機会も多少は増えて、地区のいろいろな行事も戻ってくると思うので、商材を買ってくれる機会も若干増えると思っている(コンビニ)
			・経済活動がある程度回復すると、もう少し娯楽への支出も増えると思うが、現時点でその動きは少ないように思える(通信会社)
	企業 動向 関連		・来月くらいから、少しずつだが各種イベントを開催する方向になっているので、期待したい(出版・印刷・同関連産業)
			・電子部品の入手次第のところがある。流通が良くなると景気も良くなりそうにはない(電気機械器具製造業)
	雇用 関連		・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者が大きく減少し、規制や制限が解除されれば、いろいろな業種で動きが出てくる(職業安定所)
その他の特徴 コメント		：10月も中旬までは大分悪い方へ向かっていたが、前週辺りからやや上向きになっている。11月以降、外出する機会が増えて、酒を飲みに行く人たちも増えてくるのではないかと(タクシー運転手) ：経済活動がある程度回復すると、もう少し娯楽への支出も増えると思うが、現時点でその動きは少ないように思える(通信会社)	

(D I) 現状・先行き判断D I (甲信越)の推移(季節調整値)

